

## 第3回 箕輪町景観策定委員会（ワークショップ）の成果

### ②風景の魅力や伝え方を考える

#### 【山・里山】

- ・山、森林等も手をいれる。
- ・「山の日」も制定されたので「山の日」に町民全員で山や川などの木の手入れや植林をして、将来に渡って緑の豊かな郷土にしていく。
- ・街中にある里山での自然活用。
- ・木々の中に四季を見つけ、虫や植物と共存できる手入れの行き届いた里山。
- ・3年ほど前にみのわ新聞「私のひとこと」に掲載されましたが、(萱野高原)展望台から中央、南、北アルプスが眺望できるようにということで、仙丈ヶ岳方面が見られないので、山の樹木を伐採して頂けないかと・・・町の答えは、三日町区、福与区、の山であるということでした。その後、どのようになったか。360°のパノラマが実現するのですが。
- ・箕輪町以外では見ることのできない、萱野高原周辺の整備。
- ・高原の建物は焼肉場、バーベキュー場と作られたように思いますが、普段はひっそりとし、また暗く、何かでできそうな気配がします。一層、北側のその部分を取壊して公園風にしたら人気がでると思います。



#### 【河川】

- ・河川の周囲などに大木の植林ができるようにしたい。
- ・川に生える木などを切り、水が流れる美しい川にする。
- ・水資源豊かな町をPRするため、水資源の活用（おいしいお水など）や、自然に近い水辺環境の整備を行う。
- ・湧水の水路沿いの整備等
- ・天竜川の右岸、左岸をウォーキングコースにする。親水公園を中心として活用する。
- ・十沢橋と沢の大橋の間に、天竜川にもう一本橋をかける。
- ・天竜川、手入れが行き届き美しい河川。
- ・天竜川をきれいに。



#### 【水田・農地】

- ・物だけでなく、水田に映る景色やはぞかけの秋の田など、季節を感じることでできる景観を維持するために、継続したくなる（できる）農業政策により、農地を維持する。
- ・農地が区切られてしまったり、減少してしまうのは残念です。そのまま残していけないか。
- ・休耕荒地の整備又は有効活用。
- ・田んぼ、畑等の現状維持。
- ・夏は緑、秋は黄金色の風が吹き抜ける田んぼ。
- ・広い田の中の小さな建物、物置等が景観に合致していない所があり、残念。
- ・農地、居住地バラバラに点在する。



#### 【眺望】

- ・遠くの眺望と、近くの手で触れる場所との協調。
- ・それぞれの居住地を視点とした景色。（高原、山、川、空）

#### 【段丘(眺望)】

- ・段丘上から見る2つのアルプスを大事にしていきたい。（障害物をつくらない。）
- ・段丘の視点ポイント。

#### 【景観の育て方】

- ・異なるステークホルダーが協働できる景観づくりのモデル化。例えば景観に配慮した広告物とその評価と利用。
- ・見苦しいポイ捨てゴミを拾う。街中や交通量の多い道路の沿線。
- ・企業の持つ景観（工場、ものづくり・・・）の活用も考える。
- ・電柱や鉄塔はできるだけ見えない工夫をする。
- ・育成すべき景観範囲の電線地中化は急ぐべき。
- ・ルールを守る（つくる）。
- ・農村風景と農業体験、歴史探訪・・・景観をテーマにしたツアー誘致を検討する。
- ・東西の山並み、西部山麓から続く田園地帯、天竜川をはさんだ市街地等、エリアごとの資源の保全と新たな発掘や創生。

#### 【箕輪ダム】

- ・箕輪町以外では見ることのできない、箕輪ダム周辺の整備。
- ・箕輪ダムのもみじを保護していきたい。



#### 【まち並み】

- ・街中のガラス建物と植樹
- ・街並みの建造物はなるべく低いのが良いと思う。



#### 【道路】(花桃街道)

- ・現在の花街道はとぎれとぎれ。それを連続にする事と一ヶ所でも大きな面積（例えば赤そば畑と同じくらい）のところをつくる。



#### 【道路】(R153 バイパス)

- ・大型店、コンビニ店の閉店のあとが、どのように生かされるかが心配です。
- ・道路を良くする。
- ・バイパス等の緑を大事にしていきたい。

#### 【生物】

- ・生物の存在が身近に感じられるようにしたい。

#### 【樹木・花】

- ・「山の日」も制定されたので「山の日」に町民全員で山や川などの木の手入れや植林をして、将来に渡って緑の豊かな郷土にしていく。
- ・季節ごとに咲く花などのマップづくり

#### 【歴史・教育】

- ・古墳や神社等、歴史的な物を住民皆で大切に保存する。そういう区民運動を展開していく。
- ・歴史的遺産の保護、整備。
- ・古民家や鎮守の森は危険のある場所であり、近年はこれらに対する風当たりも多いので、その由来や重要性を理解してもらって啓蒙活動を行う。
- ・古田人形、おさんやり獅子舞等の伝承館で未来に伝える方策が求められる。
- ・歴史的資源の再発見。私たちの町は縄文の昔から続いている。
- ・町の景観資源に関する子どもたちへの教育を行う。

- ・箕輪町が誇る箕輪の景観ベスト30とか。
- ・視のみでなく、五感で受け取れる場所（をつくる）。
- ・良いもの（ポイント）を繋げて多くの人に利用してもらう。価値化。
- ・町内の海拔（標高）をポイントにした心に残る景観。
- ・景観上、気になる電柱、看板。これらの規制。
- ・景観が大きく変わる時の様子を聞いてみたい。